

持続的な 企業価値向上に向けて

富士通株式会社
代表取締役副社長 CFO

磯部 武司

2024年9月10日

計画達成のドライバー 〈本日のポイント〉

サービスソリューション中期経営計画目標 (2025年度)

売上収益

2022年度
実績
2.0 \nearrow **2.4** 兆円
(+4,200億円)

調整後営業利益

2022年度
実績
1,600 \nearrow **3,600** 億円
(+2,000億円)

調整後営業利益率

2022年度
実績
8 \nearrow **15** %

モダナイゼーション



売上目標 (サービス)

2022年度
実績
800 \nearrow **2,250** 億円
(+1,450)

GM率目標 **40%**

Fujitsu Uvance



売上目標

2022年度
実績
2,000 \nearrow **7,000** 億円
(+5,000)

GM率目標
(Vertical領域) **45%**

コンサルティング



売上目標

2022年度
実績
230 \nearrow **1,800** 億円
(+1,600)

GM率目標 **50%**

テクノロジー

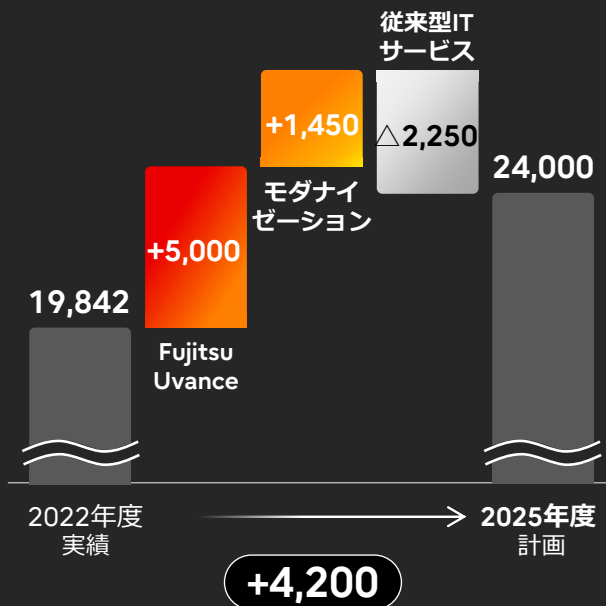


3つの成長ドライバーを支えるテクノロジー

2025年度 ターゲットへの道筋 - 売上収益

売上収益 変動内訳

(単位：億円)

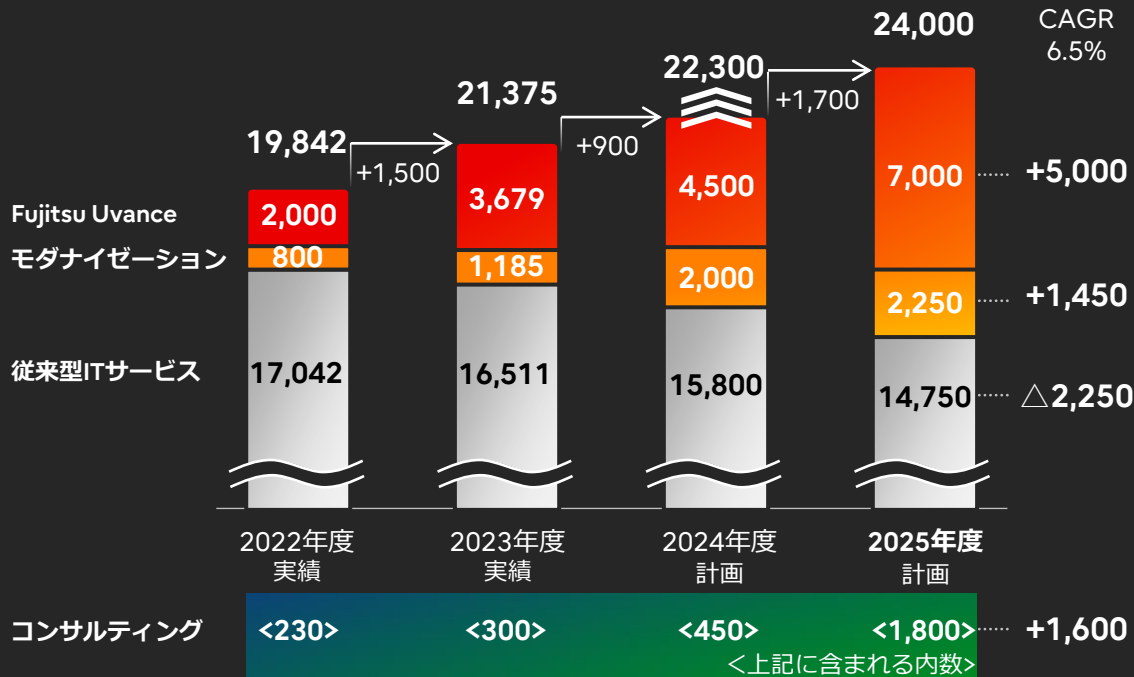


年度別計画

(単位：億円)

2022-25年度

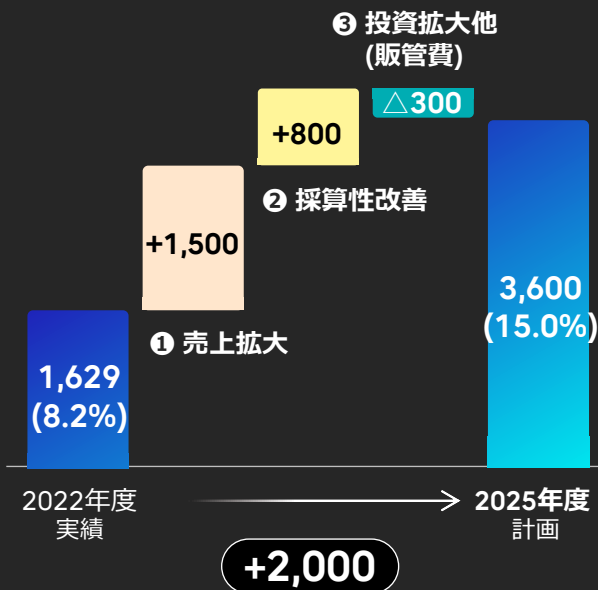
CAGR
6.5%



2025年度 ターゲットへの道筋 – 調整後営業利益

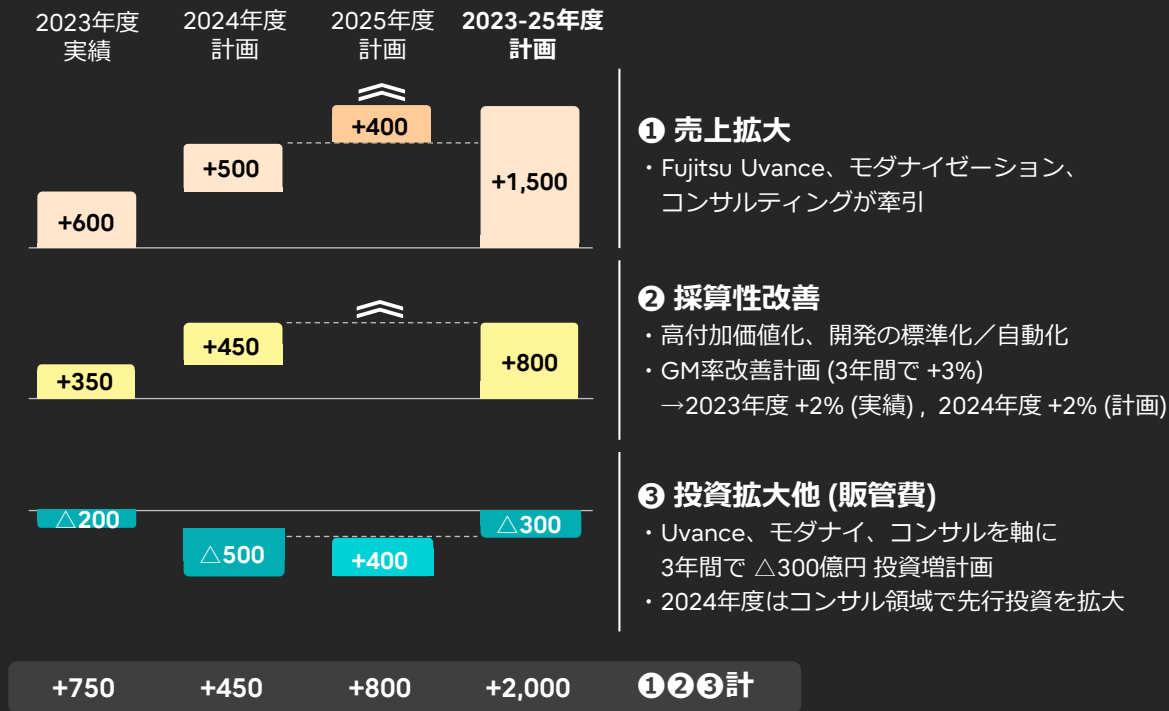
調整後営業利益 変動内訳

(単位：億円)



年度別計画及び進捗

(単位：億円)



- ① 売上拡大**
 - ・ Fujitsu Uvance、モダナイゼーション、コンサルティングが牽引
- ② 採算性改善**
 - ・ 高付加価値化、開発の標準化/自動化
 - ・ GM率改善計画 (3年間で +3%)
 - 2023年度 +2% (実績), 2024年度 +2% (計画)
- ③ 投資拡大他 (販管費)**
 - ・ Uvance、モダナイ、コンサルを軸に 3年間で △300億円 投資増計画
 - ・ 2024年度はコンサル領域で先行投資を拡大

連結財務計画の進捗

売上収益
 調整後営業利益
 調整後営業利益率

(単位：億円)

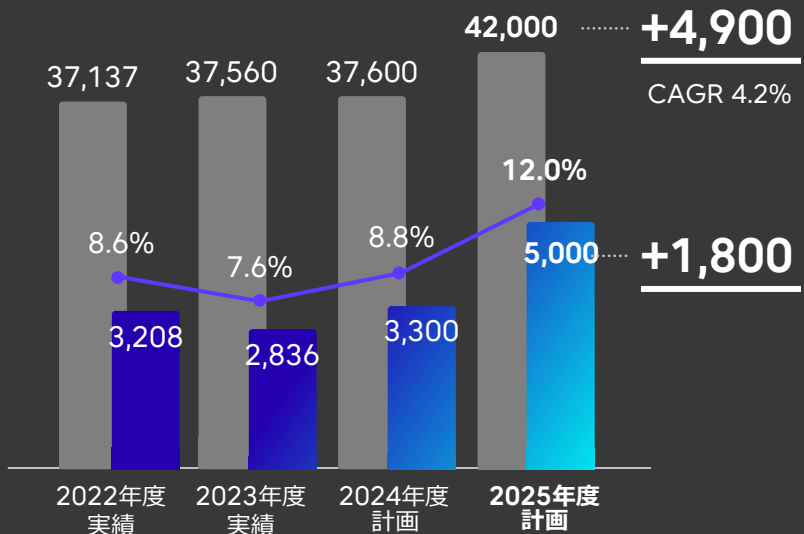
連結

2022-25年度

+4,900

CAGR 4.2%

+1,800



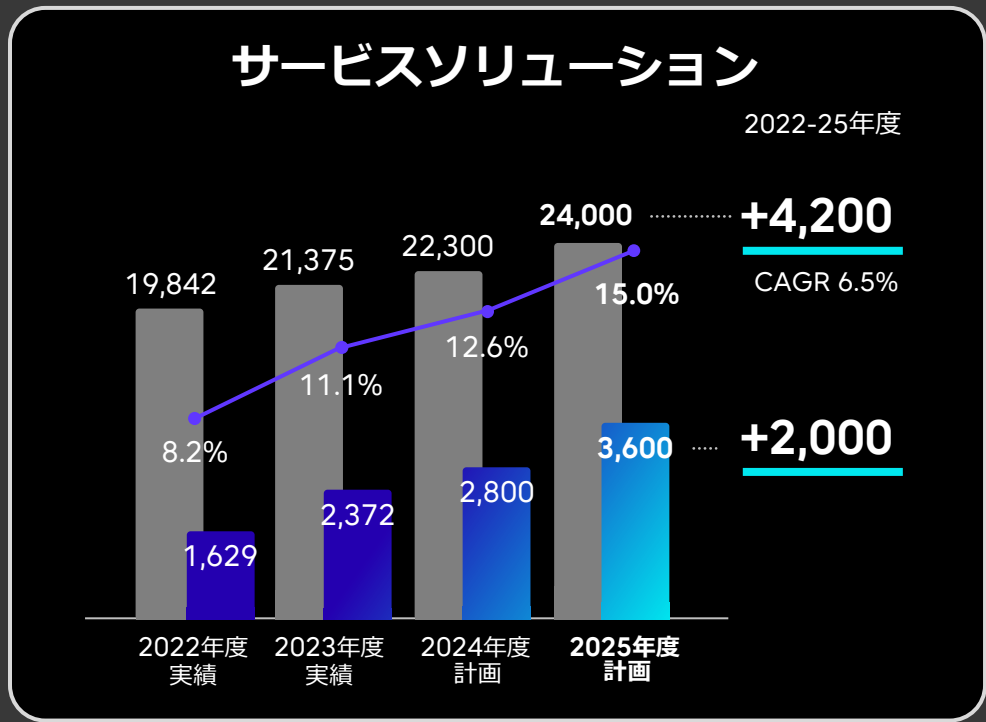
サービスソリューション

2022-25年度

+4,200

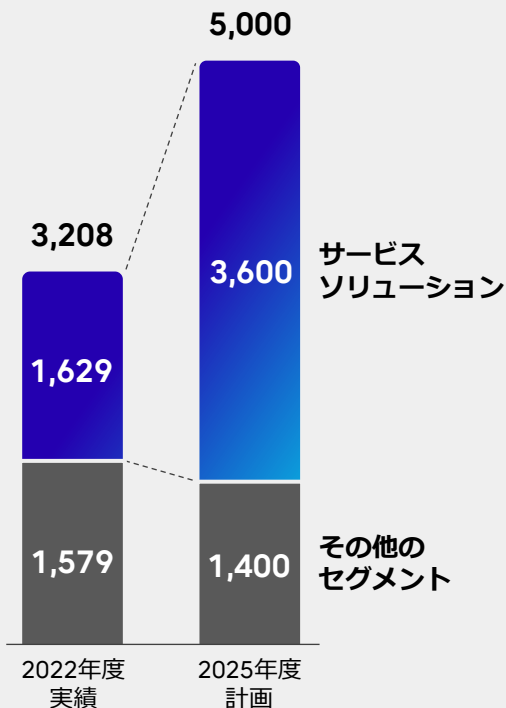
CAGR 6.5%

+2,000



セグメント別利益計画

調整後営業利益 (単位：億円)



年度別計画 (単位：億円)

(上段：調整後営業利益、下段：利益率)

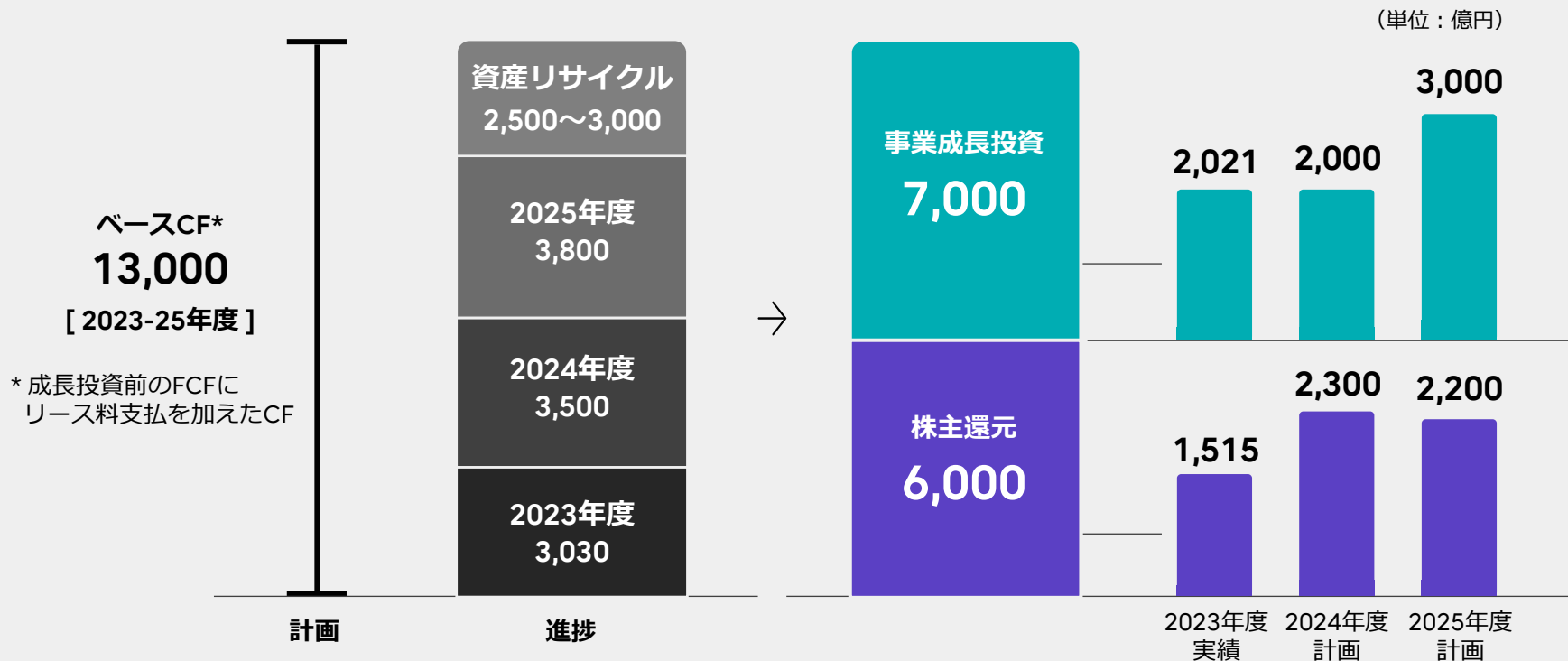
	2022年度実績	2023年度実績	2024年度計画	2025年度計画	
サービスソリューション	1,629	2,372	2,800	3,600	
ハードウェアソリューション ※1	1,126	↘ 836	→ 700	↗ 1,100	
ユビキタスソリューション	86	242	200	100	
デバイスソリューション ※2	774	↘ 183	↗ 400	↗ 800	
消去・全社	△409	△797	△800	△600	
連結	3,208 (9%)	2,836 (8%)	3,300 (9%)	5,000 (12%)	2022-25年度 (+3%)

	2022年度	2023-2024年度	2025年度
※1 ハードウェアソリューション	5G基地局や光伝送装置の需要が牽引	次世代ネットワークへの先行投資	6G、IOWN、Open RAN等の投資需要拡大を見込
※2 デバイスソリューション	電子部品の高水準のデマンドが上期まで継続	需給バランスの調整局面	AI需要の高まりなど市況回復

■ご参考	2022年度実績	2023年度実績	2024年度計画	2025年度計画	
連結 [デバイスソリューションを除く]	2,434 (7%)	2,653 (8%)	2,900 (8%)	4,200 (11%)	2022-25年度 (+4%)

キャピタルアロケーション

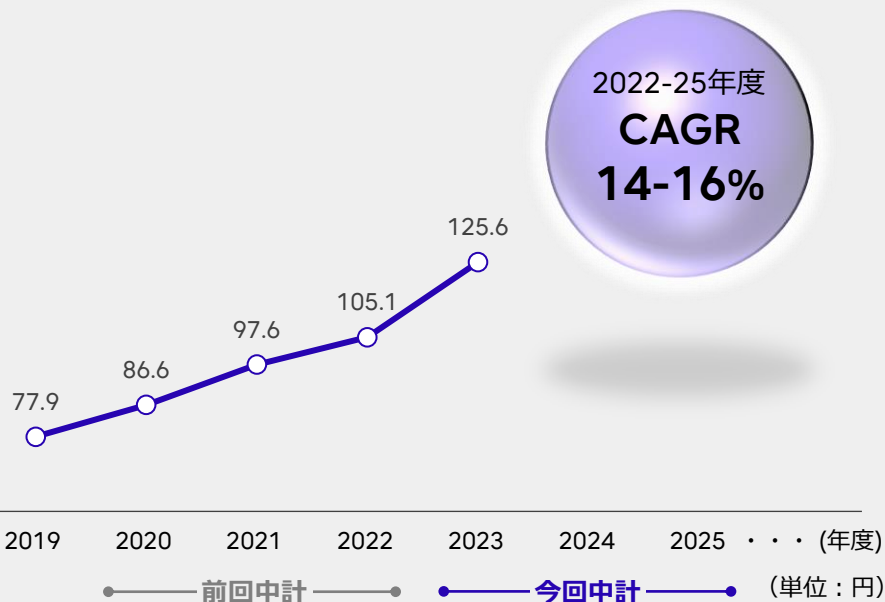
事業成長投資と株主還元：中期経営計画通りに進捗、オントラック



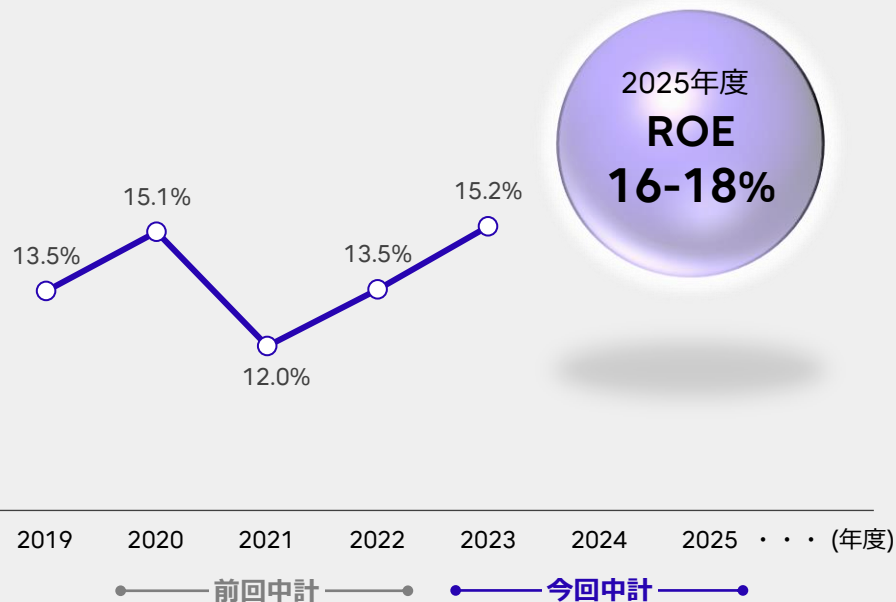
財務指標の推移

2024年4月1日に普通株式1株につき10株の割合で実施した、株式分割実施後の値に調整して表示

調整後EPS



ROE



マーケット指標の推移

2024年4月1日に普通株式1株につき10株の割合で実施した、株式分割実施後の値に調整して表示

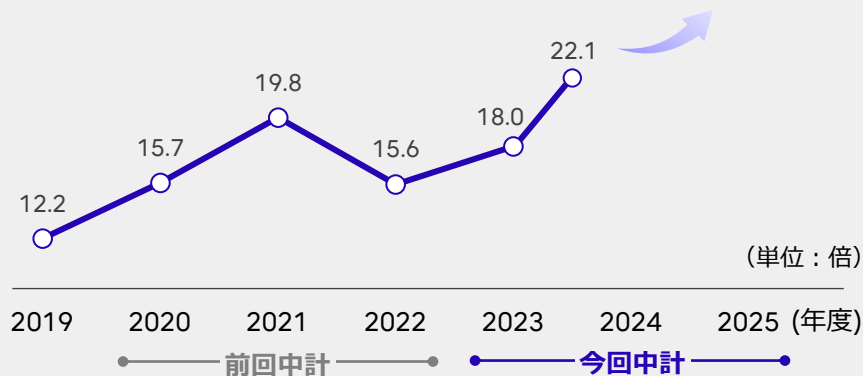


株価

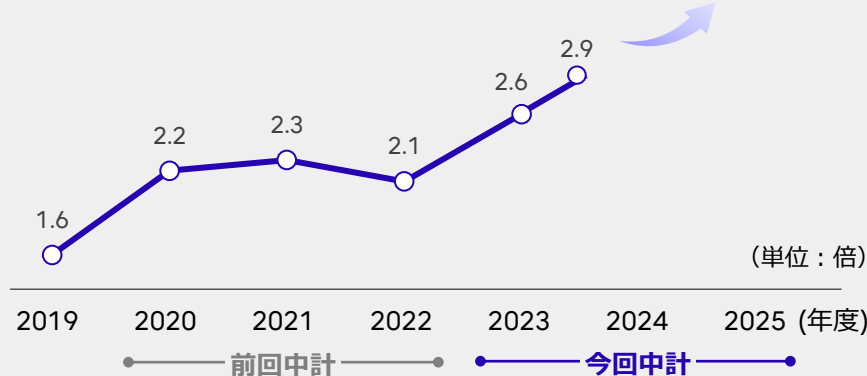


*2010-2023：年度末終値
2024：9月9日終値

PER



PBR



持続的な企業価値向上に向けて

最適なアロケーション

収益基盤の拡大

- モダナイゼーション
- Fujitsu Uvance
- コンサルティング
- テクノロジー

採算性の向上

- ・高付加価値化
- ・開発標準化
- ・自動化
- ・内製化

事業成長投資

資本効率の向上

ネットポジティブ*を実現する
テクノロジーカンパニー
2030

事業モデルと
事業ポートフォリオの変革により
利益成長軌道をアップリフト

2025 中期経営計画の達成

*ネットポジティブ：

財務的なリターンを最大化に加え、地球環境問題の解決やデジタル社会の発展、そして人々のウェルビーイングの向上に取り組み、テクノロジーとイノベーションによって社会全体へのインパクトをプラスにする

Thank you

免責事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、以下の事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

- 主要市場における景気動向(特に日本、欧州、北米、オセアニア、中国を含むアジア)
- 為替動向、金利変動
- 資本市場の動向
- 価格競争の激化
- 技術開発競争による市場ポジションの変化
- 部品調達環境の変化
- 提携、アライアンス、技術供与による競争関係の変化
- 公的規制、政策、税務に関するリスク
- 製品、サービスの欠陥や瑕疵に関するリスク
- 不採算プロジェクト発生の可能性
- 研究開発投資、設備投資、事業買収・事業再編等に関するリスク
- 自然災害や突発的事象発生のリスク
- 会計方針の変更